

平成30年度 学校教育アンケート【児童】結果

【 児童数 309 提出数 302 提出率 97.7% 】

	質 問 項 目		そう	大体そう	あまそう	そう	わから
			思う	思う	思わない	思わない	ない
1	学校生活は楽しい。	27	69%	24%	5%	1%	1%
		28	67%	27%	4%	1%	1%
		29	63%	30%	4%	2%	1%
		30	72%	24%	2%	2%	1%
2	あいさつや返事「ありがとう」「ごめんなさい」をいうことができる。	27	68%	27%	4%	1%	0%
		28	64%	31%	5%	0%	0%
		29	63%	29%	6%	1%	1%
		30	69%	27%	2%	1%	0%
3	友だちの気持ちを考えてなかよく生活している。	27	61%	33%	4%	0%	2%
		28	59%	35%	5%	0%	1%
		29	57%	36%	5%	1%	1%
		30	64%	30%	4%	1%	1%
4	行事や学校の係活動で自分の仕事に一生懸命になれる。						
		30	73%	23%	2%	1%	1%
5	学校での学習は、楽しく、わかりやすい。	27	62%	30%	6%	1%	1%
		28	58%	33%	7%	1%	1%
		29	48%	43%	7%	1%	1%
		30	59%	33%	5%	1%	1%
6	学習したことを覚えたり、生活につかうことができる。	27	56%	35%	7%	1%	1%
		28	53%	36%	9%	1%	1%
		29	50%	39%	8%	2%	1%
		30	47%	40%	10%	2%	2%
7	家庭学習や読書を進んで行っている。	27	52%	34%	9%	4%	1%
		28	51%	37%	8%	3%	1%
		29	47%	34%	14%	3%	2%
		30	54%	25%	14%	6%	1%
8	進んで運動したり、天気の良い日は校庭で遊んだりしている。	27	71%	15%	10%	4%	0%
		28	62%	24%	11%	3%	0%
		29	58%	25%	11%	5%	1%
		30	58%	23%	13%	5%	1%

H30年度より質問項目変更

9	地震や火事の時、どのように身を守ればよいかわかる。	27	90%	9%	1%	0%	0%
		28	88%	12%	0%	0%	0%
		29	85%	14%	0%	0%	1%
		30	86%	13%	1%	0%	1%
10	何かあった時に相談できる人がいる。	27	70%	21%	6%	1%	2%
		28	68%	22%	7%	1%	2%
		29	66%	24%	5%	2%	3%
		30	71%	17%	4%	4%	4%

<考察>

- ① 学校生活は楽しいと考えているは、過去3年間90%を超えている。(思わないは過去3年間4～6%で推移。人数にすると12～19名である。該当児童には個別に話を聞き対応していく)
- ② 挨拶、返事については、「そう思う」「大体そう思う」の合計が、昨年度より4%増加。本年度の学校教育目標の重点に「相手に伝わるあいさつをしよう」を掲げ、教職員が積極的にあいさつを継続したことや、環境委員会のあいさつ運動も好影響を児童に与えた。
- ③ 昨年度までの質問項目「自分の清そう分担に責任を持つことができる」は、本年度「行事や学校の係活動で自分の仕事に一生懸命になれる」に変更した。「そう思う」「大体そう思う」の合計は96%と高い数字だが、推移を注視していく。
- ④ 友達の気持ちを考えて仲良く生活しているについては、「そう思う」「大体そう思う」の合計が、昨年度とほぼ同じである。学校内外でのトラブルでは初期対応を重視した。双方の話を複数職員で聞き取り、事実を本人や保護者と確認しながら解決してきたが、その過程で、児童に相手の気持ちを考えさせる時間を確保するよう職員は心掛けていた。道徳教育の充実や豊かな人間関係作りの指導力向上も目指していく。
- ⑤ 学校での学習が楽しく、わかりやすいについては、「そう思う」「大体そう思う」の合計が92%で、昨年度とほぼ同じである。研究主任を中心とした職員の研修や、担任による放課後の個別支援、少数指導担当による個別指導が効果を上げている。
- ⑥ 家庭学習や読書については、「そう思う」「大体そう思う」の合計が79%で、昨年度より2%減少している。(3年連続減少) 担任が保護者と連携する中で、家で勉強や読書をしないといった児童の実態を把握し、個別に家庭支援や児童の個別指導を続けてきた中での減少で残念な結果である。家庭での読書習慣や生活習慣の啓発を、学校便り・学年便り・HP等でねばり強くすすめる。
- ⑦ 地震や火事の際の身の守り方については、ほぼ昨年と同じである。昨年に引き続き第一次避難行動を身につけるため、ワポイント避難訓練繰り返し実施した。
- ⑧ 何かあったときに相談できる人がいるについては、「そう思う」「大体そう思う」の合計が88%で、昨年度より2%減少した。今年度も、家庭生活や学校生活で、児童が発信する小さなサインを見逃さないよう、組織で児童を見守りながら話を聞いてきたが、最初に相談された時、「相談して良かった」と感じさせることができるように、全教職員で誠実に対応していく。

<児童自由記述> ※そのまま記載

- ・ぎょうかんやすみやひるやすみのじかんをもっとながくしてほしい。(1名)
- ・注意したら、その人に悪口を言われるのがやだ。(1名)
- ・学校での生活についてアンケートを取ってくれて、とても心強いです。(1名)
- ・自分の素直に掛けたのでスッキリしました。(アンケートを)(1名)
- ・学校生活をあらためてかんがえられた。(1名)
- ・何もしていないのにきらわれた。(1名)
- ・もう少し質問をふやした方が良い。(1名)
- ・特になし。(9名)